

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

B-STEP4,C-STEP4,P-STEP3

ICT活用による「深い学び」の実践 ミッドウェー海戦の報道比較を通じた多角的視点と批判的思考の育成

1



記事の比較

日米の記述の差異から
「違和感」で学びを始動

2



情報の抽出

ロイロノートで要約・
デジタル化し共有準備

3



分類・協働

共有ノートで日米の
情報を整理、視覚化

4



事実との照合

Yチャートで主張と客観
的事実を構造化

5



根拠の集計

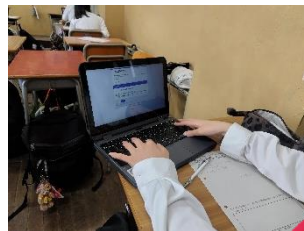
Googleフォームでクラス
全体の意見を即時可視化

6



多角的考察

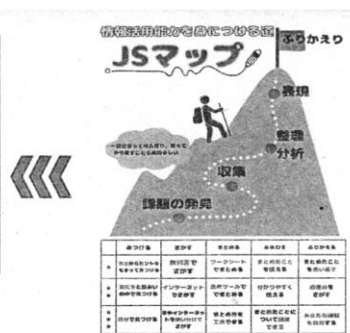
「なぜ事実は隠されたか」
理由を深く掘り下げる



生徒のふりかえりシートより

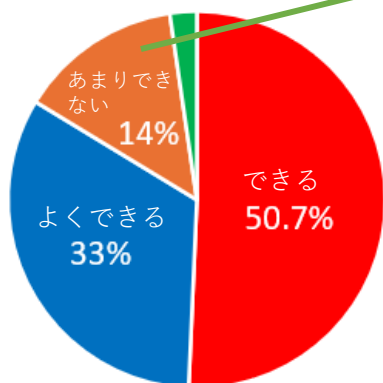
①情報活用能力を **はぐくむ** 視点

みつける	さがす	まとめる	あらわす	ふりかえる
★ 先生からセトをもらって見つける	★ 教科書でさがす	★ ワークシートでまとめる	★ まとめたことを伝える	★ まとめたことを思い返す
★ 友だちと話あひの中で見つける	★ インターネットですさがす	★ 思考ツールでまとめる	★ 分かりやすく伝える	★ 改善点をさがす
★ 自分で見つける	★ 本やインターネットを使い分けてさがす	★ まとめ方を工夫できる	★ まとめたことについて議論できる	★ あらたな課題を発見する



高石中学校の課題とこれから

あなたはプレゼンテーション(発表スライド)を作成することができますか？



主体的な探究活動についてにがてと感じる生徒が多い。

学習の振り返りから新たな疑問や次の課題を見出す活動を充実させ、実生活に活かす授業へ。

本時の学習成果

- **メディアリテラシー** 情報には必ず発信者の意図や背景があることを、実例を通じて深く理解した。
- **批判的思考の育成** 2国間の新聞や教科書等の資料を客観的に比較し、証拠に基づいて事実を見極める姿勢を養った。
- **歴史的文脈の理解** ミッドウェー海戦の敗北と、その後の言論統制・国民感情の関連性を多角的な考えを根拠とし、構造的に学んだ。

②情報活用能力を **発揮する** 視点

たのしむ	いどむ	つなげる	そうだんする
★ 自分の「好き」を旗めてツウツウする	★ デジタルツールをどんどん使っている	★ 自分の考えや作品を、身近な人に見せる	★ 困ったときに「わからない」「教えて」と言える
★★ 組みあわせて、新しいアイデアをつくる	★★ 最適なツールや調べ方を自分で選ぶ	★★ 知ったことをほかの教科と結びつける	★★ 相談をして、自分の考えをアップデートする
★★★ 情報の裏側まで理解して、深く楽しむ	★★★ ツールを組み合わせて、役立ちしくみ・作品を生み出す	★★★ 学んだことを世界や未来につなげる	★★★ さまざまな人と協力して、課題を解決する



MEMO
どのような情報にも、それを発信する個人の意図が込められている。そのため、資料を読むときには、いつどこで誰が何のために発信したのかを確かめる必要がある。特に政治的な意図をもつ宣伝広告や風刺画の場合は慎重にその意図を読み解くことが大切。同じ事件がどのように報じられているかを比較してみるのも一つの方法である。